

平成30年度実証実験用システムの内容について

平成30年度実証実験用システムの内容

1. 検索結果において乗船不可区間を非表示
2. 乗継便の検索機能を追加
3. 検索条件を見直し
4. 検索結果の表示及びアクセス方法を変更
5. ダイヤの登録方法を変更

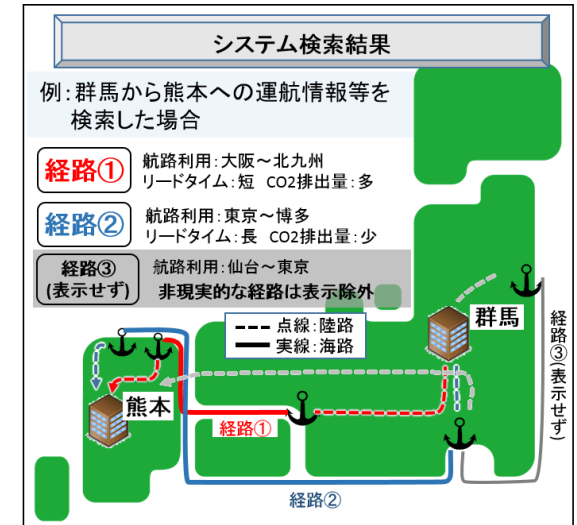
1. 検索結果において乗船不可区間を非表示

拠点間(Door to Door)経路の検索①

H29年度実験用システム

全ルート of 検索結果のうち、①～④の絞り込み条件を設定し、非現実的な経路は除外の上出発時間の早い順に表示している。

- ① 設定日時から120時間(5日以内)のもの
- ② 最短距離となる検索結果の2倍以内のもの
- ③ トータルが最短距離となる検索結果よりも、陸上区間だけの距離が短いもの
- ④ ①、②のうちCO2排出量の少ない上位30件



問題点

営業上の理由等で乗船不可としている区間が検索結果に表示されてしまう

- 例① 近海郵船 東京～大阪～那覇航路のうち、東京～大阪間(「東京～那覇」及び「大阪～那覇」のみ乗船可)
- 例② 井本商運 東京～横浜～神戸～博多～ひびき～門司航路のうち、東京～横浜(関東内)及び博多～ひびき～門司(九州内)相互間(「関東→神戸」、「関東→九州」、「神戸～九州」のみ乗船可)

H30年度実験用システム

便毎に乗船不可能な区間を登録出来るようこととし、検索結果では非表示

(⇒ 2ページ実画面イメージ)

1. 検索結果において乗船不可区間を非表示

実画面イメージ

乗船不可経路登録

※ 航路名、運航スケジュール名ごとに乗船不可の経路を登録します。

基本情報

船社・航路名・運航スケジュール名 ※ 航路名、運航スケジュール名を選択してください。

船社 航路名 運航スケジュール名

登録情報

乗船不可経路 ※ 乗船不可の経路の港を入力してください。

+ 追加 - 削除

乗船不可経路			
	乗船港	下船港	
1	<input type="checkbox"/>	博多(箱崎)	岩国(新港北)

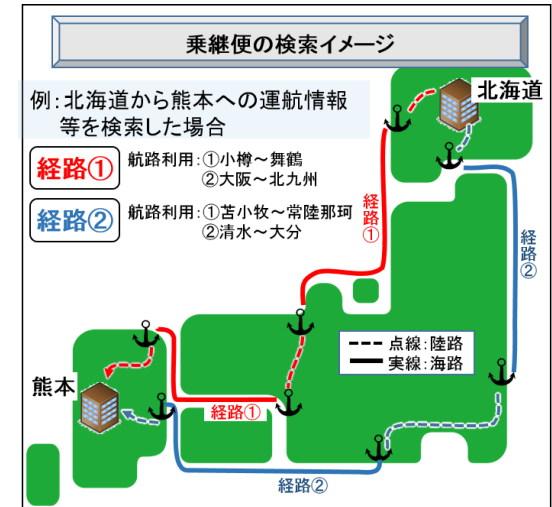
便ごとに利用不可の区間を複数パターン登録可能とし、登録した区間は検索対象から除外されます。

2. 乗継便の検索機能を追加

拠点間(Door to Door)経路の検索①

H29年度実験用システム

実際のリードタイム等を勘案し、需要が低いと思われることとシステム負荷の観点から海路が2便以上となる(乗継便)検索は対応していない。



問題点

一定の利用がある乗継ルートは存在するため、乗継便の対応が必要。

例① 苫小牧～敦賀・・・(陸路)・・・大阪～北九州や北海道～東京～沖縄ルートなど。

例② コンテナ船による、幹線航路から支線航路へのトランシップ(自社間、同一バース内での積替)。

H30年度実験用システム

代表的な航路については乗継便を検索結果に表示

(⇒ 4ページ実画面イメージ)

2. 乗継便の検索機能を追加

実画面イメージ

検索画面

Door to Door検索

検索条件

①出発地 地域: 全国 出発地: <input type="text"/> 出発日付: <input type="text"/> 出発時刻: <input type="text"/> 出発曜日: <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日 月 火 水 木 金 土	②目的地 地域: 全国 目的地: <input type="text"/> 到着日付: <input type="text"/> 到着時刻: <input type="text"/> 到着曜日: <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日 月 火 水 木 金 土	③積荷等 積荷の重量: <input type="text"/> 10 t <small>*積荷の重量は積材の自重を含まずに入力してください(1~200)。 省略した場合は10tで算出します。</small> 輸送積材長さ: <input type="text"/> 13 輸送積材・車両: <input type="text"/> 13mワインゲトラレー
---	---	---

乗継便を含めた検索

検索 クリア

検索画面で乗継検索の可否を選択できます。

結果表示画面(乗継)

経路情報

出発地: <input type="text"/>	出発日時: <input type="text"/>
↓ 距離: <input type="text"/> km 所要時間: <input type="text"/> 分 CO2排出量: <input type="text"/> t-CO2	
荷積港: <input type="text"/>	港到着日時: <input type="text"/>
↓ 距離: <input type="text"/> km 所要時間: <input type="text"/> 分 CO2排出量: <input type="text"/> t-CO2	
荷下港: <input type="text"/>	入航日時: <input type="text"/>
↓ 距離: <input type="text"/> km 所要時間: <input type="text"/> 分 CO2排出量: <input type="text"/> t-CO2	
荷積港: <input type="text"/>	港到着日時: <input type="text"/>
↓ 距離: <input type="text"/> km 所要時間: <input type="text"/> 分 CO2排出量: <input type="text"/> t-CO2	
荷下港: <input type="text"/>	入航日時: <input type="text"/>
↓ 距離: <input type="text"/> km 所要時間: <input type="text"/> 分 CO2排出量: <input type="text"/> t-CO2	
目的地: <input type="text"/>	到着日時: <input type="text"/>
目安運賃: <input type="text"/>	距離: <input type="text"/> km 所要時間: <input type="text"/> 分 CO2排出量: <input type="text"/> t-CO2

船船情報 1

船社: <input type="text"/>	船名: <input type="text"/>	便名: <input type="text"/>	運航パターン: <input type="text"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------------

お問い合わせ先

船船情報 2

船社: <input type="text"/>	船名: <input type="text"/>	便名: <input type="text"/>	運航パターン: <input type="text"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------------

お問い合わせ先

海路①

海路②

検索結果の詳細画面で、具体的なルートが表示されるようになります。

3. 検索条件を見直し

検索条件の詳細設定による航路の検索

H29年度実験用システム

検索条件

- ① 発着地(都道府県単位)
- ② 出発若しくは到着日時
- ③ 積荷種別(シャーシ、コンテナ等)
- ④ 資材、積荷内容
- ⑤ 積荷の重量

これら条件より、経路(①,②)、運賃(③~⑤)、CO2排出量(①,⑤)を表示する。

問題点

まずは運航スケジュールが更新され、正しく表示されることが一番重要。次のステップとして、運賃や空きスペースといった情報となる。

運賃については、容積、重量、輸送機材、運転手の有無等価格を構成する要素が多岐にわたるため、運賃を表示するためにはこれらを詳細に設定する必要がある。

今日、明日のリアルタイムのダイヤや空席情報より、定期的に利用するにあたって、週何便、一日何便といった検索が望ましい。

3. 検索条件を見直し

検索条件の詳細設定による航路の検索

H30年度実験用システム

①運航スケジュールが更新され、正しく表示されることが一番重要という意見を踏まえ、検索に複雑な条件設定が必要となる運賃及び空きスペース情報について、実態把握等を踏まえ、運賃情報、空きスペース情報の取扱は以下のとおり。

A. 運賃情報について

個社毎の運賃情報の登録は行わず、参考として輸送機材毎にトラックベースの「運賃表」を作成し、システム利用者は輸送機材、貨物重量を選択することで該当の「運賃表」が表示される仕様に改修し、個別経路の運賃の表示は行わない。
(⇒ 7ページ実画面イメージ)

B. 空きスペース情報について

個別の空きスペース情報はニーズが必ずしも高くないことを踏まえ、空きスペース情報の登録及び表示はしない。

②定期的に利用するにあたって、週何便、一日何便といった検索が望ましいという意見を踏まえ、検索条件を日時だけではなく「曜日」で検索可能とした。

(⇒ 8,9ページ実画面イメージ)

また、船社側の登録方法を1週間もしくは2週間の船ごとの運航サイクルで一括で登録可能とした。

(⇒ 11ページ実画面イメージ)

3. 検索条件を見直し

実画面イメージ(運賃情報の表示)

検索結果										
検索結果一覧										
詳細	船種	船社	航路名	便名	運航スケジュール	発地出発時刻	所要時間	距離数	CO2排出量	問い合わせ
1 詳細		OO海運(株)	A~B航路	A港発 月・水・金	月水金 週3便	出航当日23時59分	20時間30分	1,278km	0.69t-co2	問い合わせ

検索結果画面から
リンク

(参考)トラック輸送時のエリア別運賃

(10トントラック 貨物量10トン、車両長さ12m)

発地 \ 着地	北海道									
東北		東北								
関東			関東							
北陸・甲信越				北陸・甲信越						
東海					東海					
関西						関西				
中国							中国			
四国								四国		
九州									九州	
沖縄										沖縄

下記9区分の運賃表を作成

- ・トラック: 貨物重量10t、15t
- ・20ftコンテナ(シャーシ付): 貨物重量10t、20t
- ・40ftコンテナ(シャーシ付): 貨物重量10t、20t、26t
- ・アルミウイングトレーラー: 貨物重量10t、20t

※網掛け部分の、300km未満の区間及び合理的な海路が存在しない北陸・甲信越～東海間は、運賃を表示しない

運賃の前提条件

- ・シャーシ、トレーラー等輸送機材は運送会社側手配。
- ・積荷の形状は常温の一般製品。
- ・荷主が機材搭載に適した状態に梱包済（積卸に追加料金がかからない前提）
- ・貸切の集荷、配送で積込、取卸はそれぞれ一カ所。

運賃表の算定方法

業界誌のトラックの距離帯別実勢運賃データを参考とし、全国を11エリア相互間の運賃を掲載。(300km未満の区間と合理的な海路が存在しない北陸・甲信越～東海間は除外)

なお、北海道、四国、沖縄は距離別運賃に加えて、下記の車両航送運賃、橋通行料を加算し算定。

- 北海道: 津軽海峡フェリー 大間～函館
- 四国: 明石海峡大橋
- 沖縄: マルエーフェリー 鹿児島～那覇

3. 検索条件を見直し

実画面イメージ(登録画面)

運航スケジュール登録

※ 航路名、運航スケジュール名ごとに運航する船舶、および運航日を登録します。

基本情報

船社・航路名・運航スケジュール名 ※ 航路名、運航スケジュール名を選択してください。

船社 川崎近海汽船(株)

航路名 八戸-苫小牧

運航スケジュール名 毎日運航第1便

登録情報

運航スケジュール ※ 登録する運航日を入力してください。

検索条件で設定した「曜日」で利用できるルートが表示されます。

パターン ※ パターンから期間内の出発日一括生成します。

週 毎週 隔週
曜日
日 月 火 水 木 金 土

期間

出発日生成

出発日

指定された期間、指定で曜日で一括登録できるようになります。後から特定日のみのダイヤ変更も可能です。

+ 追加 - 削除

運航スケジュール

	日付
1	<input type="checkbox"/> 2019/01/01
2	<input type="checkbox"/> 2019/01/02
3	<input type="checkbox"/> 2019/01/03
4	<input type="checkbox"/> 2019/01/04
5	<input type="checkbox"/> 2019/01/05
	<input type="checkbox"/> 2019/01/06
	<input type="checkbox"/> 2019/01/07
	<input type="checkbox"/> 2019/01/08
	<input type="checkbox"/> 2019/01/09
	<input type="checkbox"/> 2019/01/10
	<input type="checkbox"/> 2019/01/11
12	<input type="checkbox"/> 2019/01/12

4. 検索結果の表示及びアクセス方法を変更

検索結果の表示を変更

H29年度実験用システム

設定した日時から5日以内に出発もしくは到着するルートを「個別に」表示

問題点

今日、明日のリアルタイム情報より、定期的にご利用するにあたって、週何便、一日何便といった検索が望ましい。

検索結果に表示される情報

例: ある経路を40ftコンテナで週3便の輸送をする条件での検索した場合

	船種・船社	運航スケジュール	発地 出発時刻	所要 時間	トータル 距離	CO2 排出量	目安 運賃
①	コナテ船 〇〇海運	月火水木金土日 週3便	出航当日 〇時〇分	20時間 30分	1054km	1.21 t-co2	〇~〇 万円
②	ROORO船 △△海運	月火水木金土日 週6便	出航前日 △時△分	35時間 10分	1278km	0.69 t-co2	〇~〇 万円

区間ごとの所要時間等の情報、航路の運航船社、引受可能貨物等の追加情報を表示する

表示されている検索結果をさらに絞り込み条件設定可能
例: 出発時刻を午前中に限定
海運会社や利用船種を指定 等

絞り込み

H30年度実験用システム

検索条件を特定の「日」だけではなく「曜日」でも検索可能とした。 (⇒ 8ページ実画面イメージ)

アクセス方法を変更

H29年度実験用システム

利用にはあらかじめ登録したユーザーIDによるログインが必要(ゲスト利用を除く)。

問題点

幅広く利用するために誰でも利用できる環境が望ましい

H30年度実験用システム

利用者側はユーザーID登録なしでDoor to Doorの経路表示を可能とした。海運事業者側は登録作業時に引き続きログインは必要とし、登録内容確認用にPort to Portの検索機能を海運事業者向け機能として提供することとした

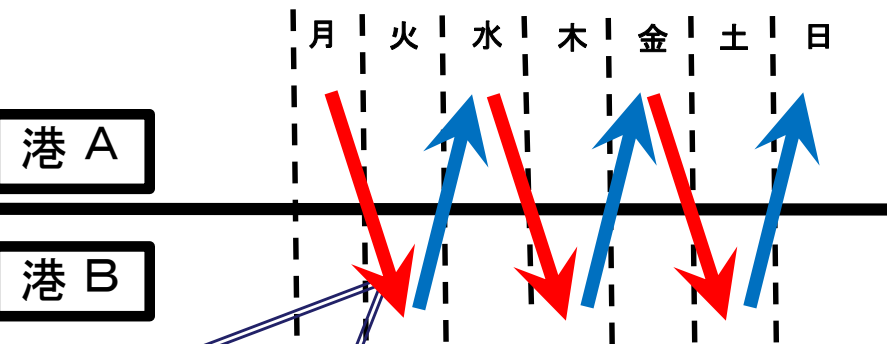
5. ダイヤの登録方法を変更

・これまでのWGのご意見を踏まえ、入力の負担軽減のため登録する単位を以下のとおり変更。

昨年の登録方法

A港発、B港発ごとにルート登録を行い、**運航日ごと**に「個別登録」しており煩雑

例: 港A~B、〇〇丸(港A 月水金発)の登録を行う場合



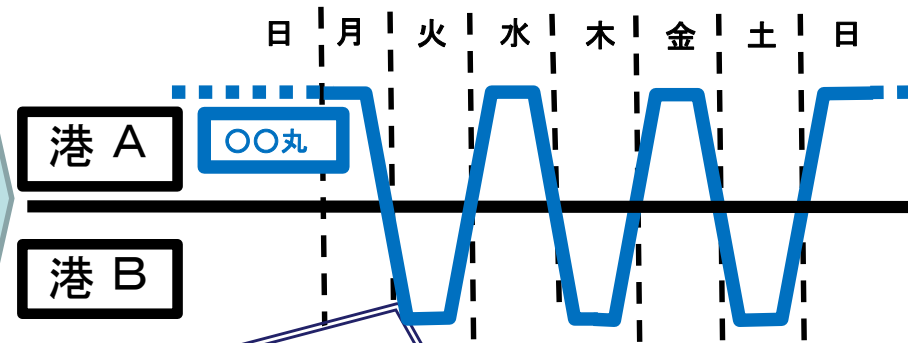
下り、上りでルート登録を行い、出発日毎に上り、下りの運航日(上記→→)毎に個別登録する。

個別運航日の登録作業が必要

新たな登録方法

最長2週間の運航サイクル単位でルート登録を行い、任意の期間内における**特定の曜日に出発する便を「一括登録」**できるように変更し、入力の負担減。

例: 港A~B、〇〇丸(港A 月水金発)の登録を行う場合



〇〇丸(青線-)の週間の運航サイクルでルート登録し、このルートで〇月〇日~〇月〇日の一定期間「毎週月曜日」に出発するダイヤを「一括登録」も可能とする。

個別運航日の登録作業が不要